

# 業務及び財産の状況に関する説明書

## 【2023年3月期】

この説明書は、金融商品取引法第46条の4の規定に基づき、全ての営業所若しくは事務所に備え置いて公衆の縦覧に供するため、又はインターネット等で公表するために作成したものです。

フィリップ証券株式会社

## I. 当社の概況及び組織に関する事項

1. 商号 フィリップ証券株式会社

2. 登録年月日（登録番号）

平成 19 年 9 月 30 日（関東財務局長（金商）第 127 号）

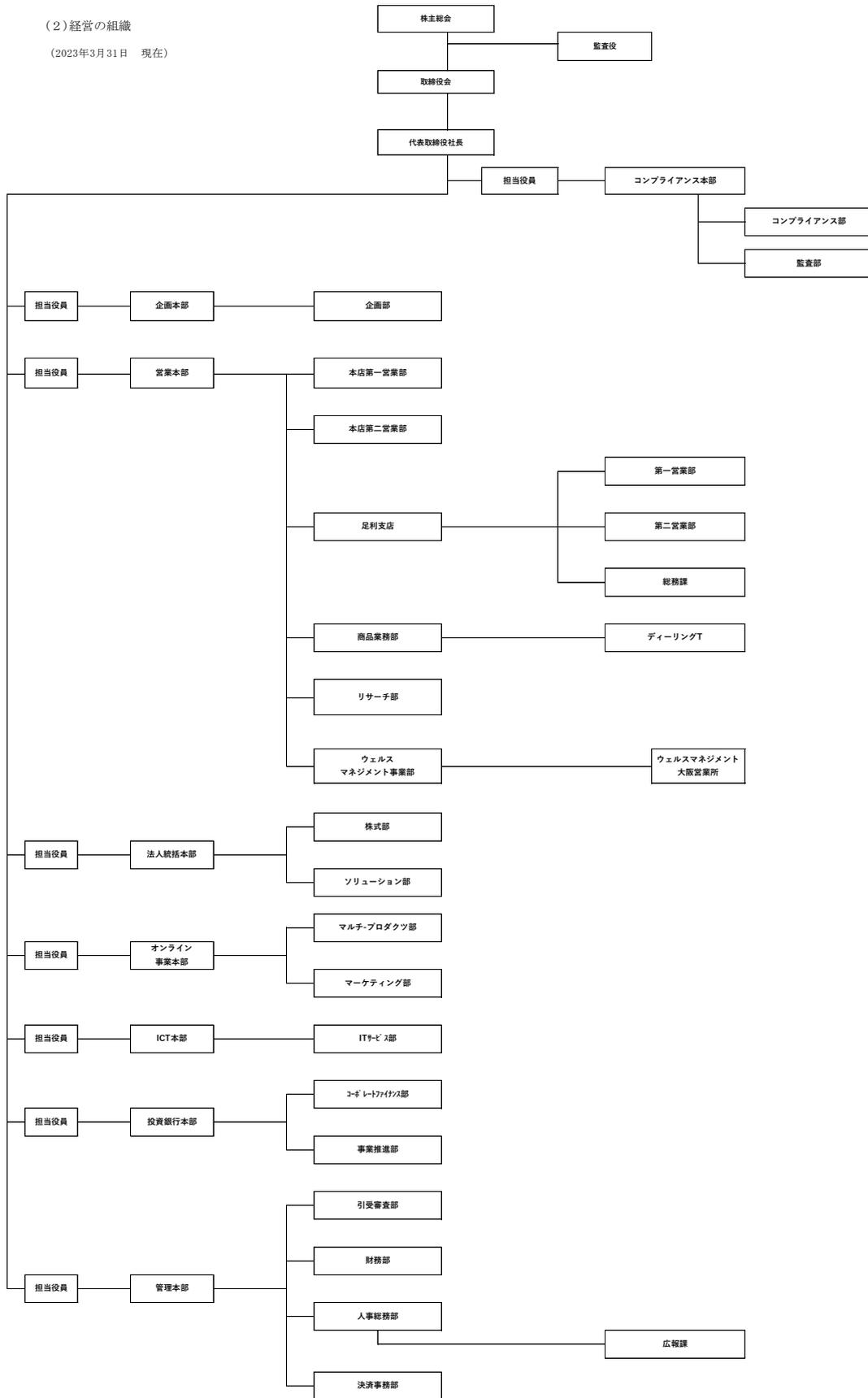
3. 沿革及び経営の組織

(1) 会社の沿革

年	月	沿 革
大正	9 年 9 月	株式現物店成瀬省一商店創立。
昭和	19 年 4 月	成瀬証券株式会社に改組。
〃	24 年 5 月	東京証券取引所設立に伴い取引所正会員となる。
〃	38 年 3 月	会社設立以降数回にわたる増資を経て、資本金 2 億 3,000 万円となる。
〃	43 年 4 月	証券取引法の改正により、同法第 28 条 1～4 号の各免許を取得。
〃	45 年 9 月	創業 50 周年を迎える。
〃	57 年 9 月	資本金を 3 億 4,500 万円に増資。
〃	58 年 7 月	資本金を 4 億 6,000 万円に増資。
平成	2 年 9 月	創業 70 周年を迎える。
〃	2 年 10 月	資本金を 7 億 2,000 万円に増資。
〃	10 年 12 月	改正証券取引法に基づく証券業の登録。
〃	12 年 9 月	創業 80 周年を迎える。
〃	19 年 9 月	金融商品取引法に基づく第 1 種金融商品取引業者として登録。
〃	20 年 1 月	付随業務「他の事業者の譲渡、合併、会社の分割、株式交換若しくは株式移転に関する相談に応じ、又はこれらに関し仲介を行う業務」及び「他の事業者の経営の相談に応じる業務」開始。
〃	21 年 7 月	株式会社 TOKYO AIM 取引所の取引参加者となる。
〃	22 年 4 月	株式会社大阪証券取引所のジャスダック取引参加者となる。
〃	23 年 1 月	株式会社大阪証券取引所の先物取引等取引資格及び先物・オプション自社清算資格を取得。
〃	23 年 3 月	その他業務(届出業務)「その行う業務に係る顧客に対し他の事業者のあっせん又は紹介を行う業務」開始。
〃	〃	金融商品取引法第 28 条第 1 項第 2 号に掲げる業務の登録。
〃	〃	Phillip Financials 株式会社と合併し商号をフィリップ証券株式会社に変更。
〃	〃	資本金を 8 億円に増資。
〃	〃	株式会社 TOKYO AIM 取引所指定アドバイザー (J-Nomad) の認定を受ける。
〃	24 年 5 月	商品先物取引法に基づく商品先物取引業の許可を得る。

年	月	沿革
平成	24年 7月	資本金を9億5,015万円に増資。
	” ”	その他業務（届出業務）「商品先物取引法第2条第21項に規定する商品市場における取引等に係る業務」開始。
	” ”	株式会社TOKYO AIM取引所と東京証券取引所の合併に伴い、TOKYO PRO Market のJ-Adviserとなる。
	25年 10月	サイバークオート株式会社（100%出資子会社）を設立。
	27年 10月	大阪営業所の開設。
	28年 11月	オンラインによる日経225先物・オプション取引「すばトレ！」のサービス提供開始。
	29年 3月	当社の提供するオンラインサービス「すばトレ！」で、商品先物取引の取扱い開始。
令和	4年 10月	金融商品取引法に基づく第2種金融商品取引業者として登録。

(2) 経営の組織  
(2023年3月31日 現在)



4. 株式の保有数の上位 10 位までの株主の氏名又は名称並びにその株式の保有数及び総株主等の議決権に占める当該株式に係る議決権の数の割合

氏名又は名称	保有株式数	割合
1. Phillip Brokerage Pte.Ltd	1,155,000株	100.00%
計 1 名	1,155,000株	100.00%

5. 役員（外国法人にあっては、国内における代表者を含む。）の氏名又は名称

役職名	氏名	代表権の有無	常勤・非常勤の別
代表取締役社長	永堀 真	有	常勤
取締役	根本 正明	無	常勤
取締役	大泉 英紀	無	常勤
取締役	尾形 雅樹	無	常勤
取締役	リム ウェン ジアン リューク	無	非常勤
監査役	小森 道雄	無	常勤

6. 政令で定める使用人の氏名

金融商品取引業に関し、法令等（法令、法令に基づく行政官庁の処分又は定款その他の規則をいう。）を遵守させるための指導に関する業務を統括する者（部長、次長、課長その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、当該業務を統括する者の権限を代行し得る地位にある者を含む。）の氏名

氏名	役職名
杉井 信彦	コンプライアンス部長

7. 業務の種別

第1種金融商品取引業

① 金融商品取引法（以下「法」という。）第28条第1項第1号に掲げる行為に係る業務

- ・有価証券の売買、市場デリバティブ取引又は外国市場デリバティブ取引
- ・有価証券の売買、市場デリバティブ取引又は外国市場デリバティブ取引の媒介、取次ぎ又は代理
- ・取引所金融商品市場における有価証券の売買、市場デリバティブ取引の委託の媒介、取次ぎ又は代理並びに外国金融商品市場における有価証券の売買又は外国市場デリ

バティック取引の委託の媒介、取次ぎ又は代理

- ・有価証券の売出し
- ・有価証券の募集若しくは売出しの取扱い又は私募の取扱い
- ② 法第28条第1項第2号に掲げる行為に係る業務
  - ・店頭デリバティック取引又はその媒介、取次ぎ若しくは代理
- ③ 法第28条第1項第3号ロに掲げる行為に係る業務
  - ・有価証券の元引受け（損失の危険の管理の必要性の高いものとして政令で定めるもの以外のもの）
- ④ 法第28条第1項第3号ハに掲げる行為に係る業務
  - ・有価証券の引受け
- ⑤ 有価証券等管理業務
- ⑥ 法第28条第1項第1号2に掲げる行為に係る業務
  - ・商品関連市場デリバティック取引

金融商品取引業に付随する業務

- ①有価証券の貸借業務
- ②信用取引に付随する金銭の貸付業務
- ③保護預り有価証券担保貸付業務
- ④有価証券に関する顧客の代理業務
- ⑤受益証券に係る収益金、償還金又は解約金の支払いに係る代理業務
- ⑥累積投資契約の締結業務
- ⑦他の事業者の事業の譲渡、合併、会社の分割、株式交換若しくは株式移転に関する相談に応じ、又はこれらに関し仲介を行う業務
- ⑧他の事業者の経営の相談に応じる業務
- ⑨通貨の売買又はその媒介、取次ぎ若しくは代理にかかる業務

第2種金融商品取引業

法第2条第8項第3号に掲げる行為に係る業務

- ・外国市場デリバティック取引

8. 本店その他の営業所又は事務所（外国法人にあっては、本店及び国内における主たる営業所又は事務所その他の営業所又は事務所）の名称及び所在地

名 称	所 在 地
本 店	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号
足利支店	〒326-0822 栃木県足利市田中町32番地10
本店別館	〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番3号 兜町ビル3階
ウェルスマネジメント 大阪営業所	〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1丁目5番2号 トリシマオフィスワンビル501

9. 他に行っている事業の種類

- ①商品先物取引法第2条第21項に規定する商品市場における取引等に係る業務
- ②商品先物取引法第2条第14項第1号から第3号に規定する店頭商品デリバティブ取引に係る業務
- ③商品先物取引法第2条第13項に規定する外国商品市場取引に係る業務
- ④保険業法第2条第26項に規定する保険募集にかかる業務
- ⑤その行う業務に係る顧客に対し他の事業者のあっせん又は紹介を行う業務

10. 苦情処理及び紛争解決の体制

紛争解決等業務の種別	苦情処理措置及び紛争解決措置
第一種金融商品取引業務	特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター (FINMAC) との間で特定第一種金融商品取引業務に係る手続実施基本契約を締結する措置

11. 加入する金融商品取引業協会及び対象事業者となる認定投資者保護団体の名称

日本証券業協会  
 一般社団法人 金融先物取引業協会  
 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター (FINMAC)

12. 会員又は取引参加者となる金融商品取引所の名称又は商号

株式会社東京証券取引所 総合取引参加者  
 株式会社大阪取引所 先物取引等取引参加者

13. 加入する投資者保護基金の名称

日本投資者保護基金  
 日本商品委託者保護基金

## Ⅱ. 業務の状況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当会計年度（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の日本経済は、政府支援策（総合景気対策、全国旅行支援策、水際対策緩和等）や金融緩和継続などが下支えとなりました。その一方、海外経済が欧米を中心に金融引締めによる継続減速が続いたことから、内需主導での回復継続が緩やかなペースとなりました。2022年10-12月期の実質GDP成長率も年率換算の前期比で0.6%増にとどまりました。

国内の株式市場では、期初2万7600円台から始まった日経平均株価は、1年を通じて概ね2万6000円から2万8500円のレンジ内で推移するなど、上値の重い展開となりました。新型コロナ禍からの経済正常化や金融緩和継続等のプラス材料による下支えは概ね変わらなかったのに対し、欧米株式市場で9月末頃までは急激な利上げに伴う景気後退懸念が高まったことから上値が抑えられました。10月以降は欧米の株式市場が利上げ幅縮小期待により上昇に転じたことを受けて期末の3月には日経平均株価がレンジ上限に到達しましたが、欧米での金融システム不安を受けて反落した結果、3月期末終値は2万8041円となりました。通期の東証プライム市場（概算）の1日平均売買代金は2兆8608億円と、前期の東証1部比で3.1%増となりました。

外国為替市場では、ドル円相場が4月に期中最安値の1ドル121円台で始まった後、米FRBによる積極的な利上げに伴う日米金利差の拡大もあり10月には151円台まで更新し、1990年8月以来の円安水準となりました。その後、米インフレ減速や日銀の金融緩和修正観測が高まると、1月には127円台のドル安円高水準まで急反落する値動きの荒い展開となりました。3月には一旦137円台のドル高円安水準まで反発しましたが、米国地銀を巡る金融システム不安を受けたドル安進行により、132円台で3月の取引を終えました。

債券市場では、期初の終値0.22%で始まった日本の10年物国債利回りは概ね0.20%から0.25%以内でのレンジ取引が続きました。日銀が12月の金融政策決定会合で長期金利上限を0.50%程度に変更したことと更なる上限引上げ期待から1月に一時0.57%まで急伸しましたが、植田日銀総裁候補の緩和継続示唆を受けて0.35%で3月の取引を終了しました。一方、米国10年物国債利回りは4月に期中最低の2.34%で始まった後、FRBの引き締め姿勢から6月1日に一時3.49%台まで上昇しました。その後は米景気後退懸念やインフレピークアウト観測から、8月には2.51%台まで低下しました。しかし、FRBがその後引締め姿勢を強めると10月には4.33%まで急伸しました。その後は米インフレ減速や米地銀破綻で米国債需要が高まったことから利回りが低下し、3.46%で3月の取引を終えました。

このような市況環境において当社は延期していた「株式オンライン事業」の開始、「STO（セキュリティ・トークン・オフリング）」ビジネスに参入し小口証券化サービスを展開する予定となっており準備を進めております。ラインナップの充実を図り、お客様への更なるサービス向上につなげていきたいと考えております。

そんな中、当事業年度の委託手数料は、7億69百万円（前事業年度比102.3%）となりました。主要の株式委託手数料は5億91百万円（同100.6%）と若干増加し受益証券手数料も増加（同127.7%）したものの、ひきつづき信用取引（同80.4%）が減少の主要因となりました。TOKYOPROMarket 指定アドバイザービジネスは2億79百万円と引き続き堅調に推移し増加（同102.1%）し、受益証券委託手数料も増加（同127.5%）いたしました。当期のトレーディング損益は、1億49百万円（同141.1%）の利益となりました。外国債券トレーディング損益は2百万円と前年比減少しましたが、店頭外国為替証拠金取引によるその他のトレーディング損益は147百万円（同148.7%）の増加となりました。

金融収益は1億28百万円（同108.4%）と増加いたしました。

以上の結果、当事業年度の純営業収益は、16億23百万円（同108.6%）となりました。

一方で、販売費・一般管理費は、17億11百万円（同109.1%）と増加しました。主な内訳は、取引関係費5億51百万円（同117.4%）、人件費6億76百万円（同103.2%）、不動産関係費1億31百万円（同123.0%）、事務費2億45百万円（同114.4%）、減価償却費15百万円（同70.4%）、その他60百万円（同153.3%）となっております。

以上の結果、営業利益は△88百万円となり前期より減少いたしました。経常利益は、投資有価証券の配当等を加え1億53百万円（同97.5%）と減少いたしました。特別損失に貸倒損失を1億28百万円計上した結果、税引前当期純利益は3百万円（同0.9%）となり、法人税等を控除後の当期純利益は△23百万円となりました。

## 2. 業務の状況を示す指標

### (1) 経営成績等の推移

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
資本金	950	950	950
発行済株式総数	1,155千株	1,155千株	1,155千株
営業収益	2,763	1,528	1,664
(受入手数料)	1,356	1,303	1,386
((委託手数料))	772	751	769
((引受け・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の手数料))	—	0	1
((募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱い手数料))	7	8	18
((その他の受入手数料))	576	542	596
((商品デリバティブ取引手数料))	259	135	74
((引受関係手数料))	198	273	279
(トレーディング損益)	1,305	106	149
((株券等))	1,217	0	0
((債券等))	4	6	2
((その他))	82	99	147
((外国為替証拠金取引))	82	99	147
純営業収益	2,730	1,494	1,623
経常損益	745	156	153
当期純損益	723	290	△23

### (2) 有価証券引受・売買等の状況

#### ① 株券の売買高の推移

(単位：百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自 己	10,909	1,186	1,173
委 託	325,430	338,997	507,572
計	336,340	340,183	508,746

- ② 有価証券の引受け及び売出し並びに特定投資家向け売付け勧誘等並びに有価証券の募集、売出し及び私募の取扱い並びに特定投資家向け売付け勧誘等の取扱いの状況  
(単位：千株、百万円)

区 分		引受高	売出高	特定投資 家向け売 付け勧誘 等の総額	募集の 取扱高	売出しの 取扱高	私募の 取扱高	特定投資家 向け売付け 勧誘等の取 扱高
二〇二二年三月期	株券	—	—	—	9	—	—	—
	国債証券	—	/	/	—	/	—	—
	地方債証券	—	/	/	—	/	—	—
	特殊債券	—	—	—	—	—	—	—
	社債券	—	—	—	—	—	—	—
	受益証券	/	/	/	881,406	—	1,565,000	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—
二〇二三年三月期	株券	29	—	—	34	—	—	—
	国債証券	—	/	/	—	/	—	—
	地方債証券	—	/	/	—	/	—	—
	特殊債券	—	—	—	—	—	—	—
	社債券	—	—	—	—	—	—	—
	受益証券	/	/	/	686,315	—	48	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—
二〇二三年三月期	株券	11	—	—	12	—	—	—
	国債証券	—	/	/	—	/	—	—
	地方債証券	—	/	/	—	/	—	—
	特殊債券	—	—	—	—	—	—	—
	社債券	—	—	—	—	—	—	—
	受益証券	/	/	/	455,625	—	7,875,657	—
	その他	—	—	—	—	—	—	—

## (3) その他業務の状況

(単位：百万円)

区 分	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
商品市場における取引等に 係る業務	259	135	74
保険契約締結の代理又は 媒介に係る取扱手数料	—	—	—
その行う業務に係る顧客に対し他の 事業者のあっせん又は紹介を行う業務	59	51	27

## (4) 自己資本規制比率の状況

(単位：%、百万円)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本規制比率 (A/B×100)	216.6	234.1	243.8
固定化されていない自己資本 (A)	7,715	6,856	6,594
リスク相当額 (B)	3,560	2,928	2,704
市場リスク相当額	2,801	2,392	2,109
取引先リスク相当額	137	151	168
基礎的リスク相当額	622	384	425
暗号資産による控除額	—	—	—

## (5) 使用人の総数及び外務員の総数

(単位：名)

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
使用人	90	89	92
(うち外務員)	75	77	74

※使用人には子会社への出向者7名を含む。

### Ⅲ. 財産の状況に関する事項

#### 1. 経理の状況

##### (1) 貸借対照表

(単位：千円)

科 目	2022年3月期	2023年3月期	科 目	2022年3月期	2023年3月期
	金 額	金 額		金 額	金 額
<b>流 動 資 産</b>	<b>55,865,398</b>	<b>30,880,298</b>	<b>流 動 負 債</b>	<b>53,782,023</b>	<b>28,842,275</b>
現金・預金	4,905,895	2,464,117	トレーディング商品	48,636	956
預託金	8,402,387	10,515,831	デリバティブ取引	48,636	956
顧客分別金信託	6,340,000	8,470,000	約定見返勘定	—	—
顧客区分管理信託	2,057,578	2,026,684	信用取引負債	2,115,617	1,983,540
その他の預託金	4,808	19,147	信用取引借入金	1,955,624	1,686,790
トレーディング商品	94,676	7,450	信用取引貸証券受入金	159,992	296,740
デリバティブ取引	94,676	7,450	預り金	9,542,768	8,330,933
約定見返勘定	559	203	受入保証金	41,055,796	16,424,314
信用取引資産	2,693,952	2,560,448	受取差金勘定	122,984	28,843
信用取引貸付金	2,546,555	2,291,672	短期借入金	750,000	1,500,000
信用取引借証券担保金	147,397	268,776	前受収益	12,204	20,225
立替金	26,767	921	未払金	78,216	534,225
募集等払込金	—	0	未払費用	7,187	6,976
短期差入保証金	33,352,418	13,855,957	未払法人税等	37,511	12,259
支払差金勘定	5,772,118	1,033,101	賞与引当金	—	—
前払金	18,229	—	<b>固 定 負 債</b>	<b>2,329,320</b>	<b>2,068,493</b>
前払費用	8,976	11,650	繰延税金負債	2,285,079	2,032,908
保管有価証券	224,859	218,064	退職給付引当金	33,240	26,585
未収入金	311,192	90,492	その他の固定負債	11,000	9,000
未収収益	79,114	51,914	<b>引 当 金</b>	<b>92,802</b>	<b>113,714</b>
その他の流動資産	—	69,650	金融商品取引責任準備金	65,636	86,548
貸倒引当金	△25,742	△322	商品取引責任準備金	27,166	27,166
<b>固 定 資 産</b>	<b>10,347,640</b>	<b>9,557,992</b>	<b>負 債 合 計</b>	<b>56,204,146</b>	<b>31,024,483</b>
有形固定資産	171,056	163,645	<b>株 主 資 本</b>	<b>4,831,269</b>	<b>4,807,563</b>
建物	17,705	15,135	資本金	950,150	950,150
器具備品	19,325	14,485	資本剰余金	1,112,510	1,112,510
土地	134,024	134,024	資本準備金	577,422	577,422
無形固定資産	10,054	45,761	その他資本剰余金	535,088	535,088
ソフトウェア	7,049	35,972	利益剰余金	2,768,608	2,744,903
電話加入権	3,004	3,004	利益準備金	590,000	590,000
ソフトウェア仮勘定	—	6,785	その他利益剰余金	2,178,608	2,131,197
投資その他の資産	10,166,529	9,348,584	(繰越利益剰余金)	2,178,608	2,131,197
投資有価証券	9,698,011	8,956,204	<b>評 価 ・ 換 算 差 額 等</b>	<b>5,177,622</b>	<b>4,606,243</b>
関係会社株式	5,000	5,000	その他有価証券評価差額金	5,177,622	4,606,243
出資金	2,109	2,109	<b>純 資 産 合 計</b>	<b>10,008,892</b>	<b>9,413,807</b>
長期貸付金	192,000	192,000	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>66,213,038</b>	<b>40,438,290</b>
長期差入保証金	268,735	192,845			
長期前払費用	673	425			
その他の投資等	983	983			
貸倒引当金	△983	△983			
<b>資 産 合 計</b>	<b>66,213,038</b>	<b>40,438,290</b>			

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

科 目	2022年3月期		2023年3月期	
	内 訳	金 額	内 訳	金 額
<b>営業収益</b>		<b>1,528,123</b>		<b>1,664,279</b>
受入手数料	1,303,832		1,386,100	
トレーディング損益	106,057		149,984	
金融収益	118,232		128,194	
<b>金融費用</b>		<b>33,766</b>		<b>41,018</b>
<b>純営業収益</b>		<b>1,494,356</b>		<b>1,623,260</b>
<b>販売費・一般管理費</b>		<b>1,586,816</b>		<b>1,711,908</b>
取引関係費	469,375		551,179	
人件費	655,521		676,710	
不動産関係費	106,660		131,221	
事務費	214,464		245,424	
減価償却費	21,530		15,178	
租税公課	36,492		31,506	
貸倒引当金繰入れ	25,199		0	
その他	39,571		60,687	
<b>営業損益</b>		<b>△74,459</b>		<b>△88,647</b>
<b>営業外収益</b>		<b>244,369</b>		<b>248,833</b>
<b>営業外費用</b>		<b>13,146</b>		<b>7,185</b>
<b>経常損益</b>		<b>156,763</b>		<b>153,001</b>
<b>特別利益</b>		<b>288,788</b>		<b>25,199</b>
貸倒引当金戻入	288,788		25,199	
<b>特別損失</b>		<b>31,984</b>		<b>174,377</b>
貸倒損失	—		153,465	
減損損失	29,186		—	
金融商品取引責任準備金繰入れ	2,591		20,911	
商品取引責任準備金繰入れ	206		—	
<b>税引前当期純損益</b>		<b>413,567</b>		<b>3,823</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>		<b>123,172</b>		<b>27,529</b>
<b>当期純損益</b>		<b>290,394</b>		<b>△23,705</b>

## (3) 株主資本等変動計算書

(2022年4月1日～2023年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資本金	資 本 剰 余 金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当 期 首 残 高	950,150	577,422	535,088	1,112,510
事業年度中の変動額				
別 途 積 立 金 の 取 崩	—	—	—	—
剰 余 金 の 配 当	—	—	—	—
当 期 純 利 益	—	—	—	—
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—
当 期 末 残 高	950,150	577,422	535,088	1,112,510

	株 主 資 本				
	利 益 剰 余 金				株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		別途積立金	繰越利益剰余金合計		
当 期 首 残 高	590,000	—	2,178,608	2,768,608	4,831,268
事業年度中の変動額					
別 途 積 立 金 の 取 崩	—	—	—	—	—
剰 余 金 の 配 当	—	—	—	—	—
当 期 純 利 益	—	—	△23,705	△23,705	△23,705
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	—	—	△23,705	△23,705	△23,705
当 期 末 残 高	590,000	—	2,154,903	2,744,903	4,807,563

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当 期 首 残 高	5,177,622	5,177,622	10,008,892
事業年度中の変動額			
別途積立金の取崩	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—
当期純利益	—	—	△23,705
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	△571,379	△571,379	△571,379
事業年度中の変動額合計	△571,379	△571,379	△595,085
当 期 末 残 高	4,606,243	4,606,243	9,413,807

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：千円)

	株 主 資 本			
	資本金	資 本 剰 余 金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当 期 首 残 高	950,150	577,422	535,088	1,112,510
事業年度中の変動額				
別 途 積 立 金 の 取 崩	—	—	—	—
剰 余 金 の 配 当	—	—	—	—
当 期 純 利 益	—	—	—	—
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	—	—	—	—
当 期 末 残 高	950,150	577,422	535,088	1,112,510

	株 主 資 本				
	利 益 剰 余 金				株主資本合計
	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計	
		別途積立金	繰越利益剰余金合計		
当 期 首 残 高	590,000	—	1,888,214	2,478,214	4,540,874
事業年度中の変動額					
別 途 積 立 金 の 取 崩	—	—	—	—	—
剰 余 金 の 配 当	—	—	—	—	—
当 期 純 利 益	—	—	290,394	290,394	290,394
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—
事業年度中の変動額合計	—	—	290,394	290,394	290,394
当 期 末 残 高	590,000	—	2,178,608	2,768,608	4,831,269

	評価・換算差額等		純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差 額等合計	
当 期 首 残 高	6,024,344	6,024,344	10,565,219
事業年度中の変動額			
別途積立金の取崩	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—
当期純利益	—	—	290,394
株主資本以外の項目の事 業年度中の変動額(純額)	△846,721	△846,721	△846,721
事業年度中の変動額合計	△846,721	△846,721	△556,327
当 期 末 残 高	5,177,622	5,177,622	10,008,892

## (4) 注記事項

2022年3月期						2023年3月期					
<b>【貸借対照表に関する注記】</b>						<b>【貸借対照表に関する注記】</b>					
(1) 有形固定資産の減価償却累計額 245,222 千円						(1) 有形固定資産の減価償却累計額 263,323 千円					
(2) 担保に供している資産 (千円)						(2) 担保に供している資産 (千円)					
担保資産の 対象となる債務		担保に供している資産				担保資産の 対象となる債務		担保に供している資産			
科目	期末 残高	現預金	土地 建物	投資有 価証券	計	科目	期末 残高	現預金	土地 建物	投資有 価証券	計
短期借入金	750,000	-	130,356	3,912,283	4,042,639	短期借入金	1,500,000	-	134,024	2,545,732	2,679,756
金融機関 借入金	650,000	-	130,356	457,680	588,036	金融機関 借入金	1,000,000	-	134,024	403,700	537,724
証券金融 借入金	100,000	-	-	3,454,603	3,454,603	証券金融 借入金	500,000	-	-	2,142,032	2,142,032
信用取引借入金	1,955,624	-	-	-	-	信用取引借入金	1,686,799	-	-	-	-
計	2,705,624	-	130,356	3,912,283	4,042,639	計	3,186,799	-	134,024	2,545,732	2,679,756
<p>(注) 1. 担保に供している資産は、期末帳簿価額によるものであります。</p> <p>2. 上記のほか、信用取引借入金の担保として、顧客より委託保証金の代用として受入れた質権有価証券を1,225,970千円差し入れております。</p> <p>3. このほかに、一般貸株の担保として投資有価証券を57,150千円、会員信認金として現金を16,900千円、取引参加者保証金として現金を12,200千円、清算預託金として現金を226,247千円及び投資有価証券を2,109,859千円、参加者基金預託金として現金を25,000千円、当初証拠金として現金を31,693千円及び投資有価証券を307,009千円、清算基金として投資有価証券を528,609千円、清算参加者証拠金として投資有価証券を8,915千円、ほふりクリアリングの担保指定証券として投資有価証券を571,500千円差し入れております。</p>						<p>(注) 1. 担保に供している資産は、期末帳簿価額によるものであります。</p> <p>2. 上記のほか、信用取引借入金の担保として、顧客より委託保証金の代用として受入れた質権有価証券を1,754,580千円差し入れております。</p> <p>3. このほかに、一般貸株の担保として投資有価証券を50,462千円、会員信認金として現金を16,900千円、取引参加者保証金として現金を12,200千円、清算預託金として現金を140,247千円及び投資有価証券を1,660,680千円、参加者基金預託金として現金を25,000千円、当初証拠金として現金を33,903千円及び投資有価証券を307,417千円、清算基金として投資有価証券を455,272千円、清算参加者証拠金として投資有価証券を32,296千円、ほふりクリアリングの担保指定証券として投資有価証券を504,625千円差し入れております。</p>					

2022年3月期	2023年3月期
<p>(3) 差し入れた有価証券の時価額</p> <p>信用取引貸証券 170,943 千円</p> <p>信用取引借入金の本担保証券 1,897,541 千円</p> <p>差入保証金代用有価証券 1,225,970 千円</p> <p>その他の担保として差し入れた有価証券 7,495,327 千円</p>	<p>(3) 差し入れた有価証券の時価額</p> <p>信用取引貸証券 309,818 千円</p> <p>信用取引借入金の本担保証券 1,694,138 千円</p> <p>差入保証金代用有価証券 1,754,580 千円</p> <p>その他の担保として差し入れた有価証券 6,638,478 千円</p>
<p>(4) 差し入れを受けた有価証券の時価額</p> <p>信用取引貸付金の本担保証券 2,428,794 千円</p> <p>信用取引借証券 147,525 千円</p> <p>受入保証金代用有価証券(再担保提供同意を得たもの) 9,285,831 千円</p>	<p>(4) 差し入れを受けた有価証券の時価額</p> <p>信用取引貸付金の本担保証券 2,264,247 千円</p> <p>信用取引借証券 267,505 千円</p> <p>受入保証金代用有価証券(再担保提供同意を得たもの) 10,158,602 千円</p>
<p>(5) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期金銭債権 6,797 千円</p> <p>長期金銭債権 192,000 千円</p> <p>短期金銭債務 3,495 千円</p>	<p>(5) 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務</p> <p>短期金銭債権 25,615 千円</p> <p>長期金銭債権 192,000 千円</p> <p>短期金銭債務 4,519 千円</p>
<p>(6) 特別法上の準備金</p> <p>特別法上の準備金の計上を規定した法令の条項は次のとおりであります。</p> <p>金融商品取引責任準備金 金融商品取引法第 46 条の 5 第 1 項</p> <p>商品取引責任準備金 商品先物取引法第 221 条</p>	<p>(6) 特別法上の準備金</p> <p>特別法上の準備金の計上を規定した法令の条項は次のとおりであります。</p> <p>金融商品取引責任準備金 金融商品取引法第 46 条の 5 第 1 項</p> <p>商品取引責任準備金 商品先物取引法第 221 条</p>
<p><b>【損益計算書に関する注記】</b></p> <p>関係会社との取引高</p> <p>営業取引以外の取引による取引高 161,875 千円</p> <p>営業外収益</p> <p>営業外収益は、主に投資有価証券である日本取引所グループからの受取配当金であります。</p>	<p><b>【損益計算書に関する注記】</b></p> <p>関係会社との取引高</p> <p>営業取引以外の取引による取引高 141,806 千円</p> <p>営業外収益</p> <p>営業外収益は、主に投資有価証券である日本取引所グループからの受取配当金であります。</p>

2022年3月期	2023年3月期
<b>【株主資本等変動計算書に関する注記】</b>	<b>【株主資本等変動計算書に関する注記】</b>
(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数 <div style="text-align: right; padding-right: 20px;">普通株式      1,155,000株</div>	(1) 当事業年度末における発行済株式の種類及び総数 <div style="text-align: right; padding-right: 20px;">普通株式      1,155,000株</div>
(2) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項 該当事項はございません。	(2) 当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項 該当事項はございません。
(3) 当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項 該当事項はございません。	(3) 当事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項 該当事項はございません。

2. 借入金の主要な借入先及び借入金額

(単位：百万円)

借入先の氏名又は名称	借入金額		備考
	2022年3月31日現在	2023年3月31日現在	
みずほ銀行	100	—	短期借入金
東京証券信用組合	550	600	短期借入金
七十七銀行	—	300	短期借入金
きらぼし銀行	—	100	短期借入金
日本証券金融	100	500	短期借入金
日本証券金融	1,955	1,686	信用取引借入金

3. 保有する有価証券（トレーディング商品に属するものとして経理された有価証券を除く。）  
の取得価額、時価及び評価損益

(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期		
	取得価額	時価	評価損益	取得価額	時価	評価損益
1. 流動資産						
(1) 株券	—	—	—	—	—	—
(2) 債券	—	—	—	—	—	—
(3) その他	—	—	—	—	—	—
2. 固定資産						
(1) 株券	67	7,503	7,435	59	6,637	6,578
(2) 債券	1,600	1,665	65	1,600	1,582	△17
(3) その他	572	599	26	654	714	60
合計	2,240	9,768	7,527	2,313	8,935	6,621

4. デリバティブ取引（トレーディング商品に属するものとして経理された取引を除く。）  
の契約価額、時価及び評価損益

(1) 先物取引・オプション取引の状況

① 株式

該当事項はございません。

② 債券

該当事項はございません。

(2) 有価証券店頭デリバティブ取引の状況

該当事項はございません。

5. 財務諸表に関する会計監査人等による監査の有無

会社法第 436 条第 2 項の規定に基づき、計算書類について、MAZARS 有限責任監査法人による監査を受けております。

#### IV. 管理の状況

##### 1. 内部管理の状況の概要

当社は、内部管理統括責任者を最高責任者として、営業単位ごとに営業責任者及び内部管理責任者を配置し、また、内部管理部門としてコンプライアンス本部にコンプライアンス部及び監査部を設置し、以下に掲げる業務分掌項目に従い内部管理の徹底を図っております。

部 課 名	業 務 分 掌	
	項 目	細 目
コンプライアンス本部	コンプライアンス本部にコンプライアンス部及び監査部を置く	
監 査 部	年次の監査に関する監査計画の策定	各部署・業務ごとのリスク評価 リスク評価に基づく監査計画の策定
	個別監査の実施及び報告	事務監査（部店内、部店間、社外との事務に関する監査の実施及び結果報告） コンプライアンス監査（社外に対する口頭、書面での法人としての行為のコンプライアンスに関する監査及び社内におけるコンプライアンス遵守状況の監査の実施及び結果報告） システム監査（システム導入、システムの運営、システム障害に対する対応、システム委員会の運営に対する監査の実施及び結果報告）
	代表取締役社長、取締役会、監査役等の臨時的指示による監査・調査の実施及び報告	代表取締役社長、取締役会、監査役、社内の各委員会または内部通報制度に基づく監査・調査の実施及び報告
	監査役監査のサポート	
コンプライアンス部	会議体の運営	コンプライアンス・リスク管理拡充委員会事務局 事故等再発防止委員会事務局 取締役会の決議及び監査役などの指示に基づく臨時で開催される会議体の事務局（例：第三者委員会）
	コンプライアンスにかかる社内規定の制定、管理	社内規定等の作成及び改廃
	コンプライアンスにかかる調査・研究	監督官庁、自主規制団体からの連絡文書などの収集 外部セミナー等への参加

部 課 名	業 務 分 掌	
	項 目	細 目
考 査	コンプライアンスにかかる全社的な啓蒙	電磁的な方法及び会議体を通じた全社的なコンプライアンスに関する啓蒙の実施
	顧客からの苦情・紛争への対応	顧客からの苦情、顧客との紛争に関する社内情報収集 顧客からの苦情等の対応 相談センター等経由の顧客からの苦情等の対応 苦情、紛争の原因となった事象に対する改善策の策定
	外部検査・考査の対応に関する事項	外部検査・考査の立会い 検査・考査の資料作成及び収集
	監督官庁、自主規制諸団体等に対する申請、届出または報告（決済事務部及び企画財務部所管を除く）	監督官庁、取引所または協会等に、法令遵守、不祥事、事故、業務の改廃、新規業務許認可もしくは届出またはシステム障害等、コンプライアンスに関する文書の作成、提出及び窓口
	個人データ管理	個人データ総台帳の管理
	顧客のコンプライアンス面での管理	1. 反社・AML等の管理 1) 新規口座に関する反社・AML等のチェック 2) 既存口座に関する反社・AML等のチェック 3) 警察等からの照会の対応  2. 顧客ごとの適合性の原則チェック 1) 有価証券取引の適正規模 2) デリバティブ取引等の適正規模 3) 貸付にかかる適正規模 4) その他の取引等の適正規模  3. 取引時確認等手続きの統括  4. 顧客情報の管理及び保管
営業員のコンプライアンス面での管理	取引の安全性が確保されていることのチェック 顧客本位の業務運営状況のチェック 営業員の異動時の手続及び顧客対応 営業員に対するコンプライアンスにかかる研修などの実施	

部 課 名	業 務 分 掌	
	項 目	細 目
売 買 審 査	有価証券等の売買管理	不公正取引の未然防止のための審査及び措置等 法人関係情報の管理 内部者取引関係の管理 注文管理体制のチェック 価格形成動向等の監視 役職員の有価証券等の売買の管理
	広告の表示及び景品類の提供に関する審査	広告等に関する審査及び審査記録の保管
法 務	利益相反管理	利益相反のおそれのある取引に関する情報収集 利益相反のおそれのある取引の特定及び管理
	全社レベルでの法務に関するアドバイス	取締役会、関係部署等に対する法務面での助言
	重要な対外的文書の作成	次の対外的文書に関する作成、法務面でのチェック 1) 監督官庁、自主規制機関または取引所等への提出文書 2) 契約書等 3) 他部署が作成する重要文書 4) 当社以外が作成した契約書等
	立替金等の全体管理	顧客又は取引先に関する立替金又は未収金等の管理
	訴訟等への対応	顧客または取引先等との紛争等に関して、関係部署と連携した訴訟・調停等の手続きの実行
	顧問弁護士との窓口	

## 2. 分別管理の状況

### (1) 金融商品取引法第43条の2の規定に基づく分別管理の状況

#### ① 顧客分別金信託の状況

(単位：百万円)

項目	2022年3月31日現在の金額	2023年3月31日現在の金額
直近差替計算基準日の顧客分別金必要額	6,237	8,372
顧客分別金信託額	6,340	8,470
期末日現在の顧客分別金必要額	9,662	8,356

#### ② 有価証券の分別管理の状況

##### イ 保護預り等有価証券

(単位：千株、百万円、百万口)

有価証券の種類		2022年3月31日現在		2023年3月31日現在	
		国内証券	外国証券	国内証券	外国証券
株券	株数	182,306	4,749	228,776	3,559
債券	額面金額	—	683	—	376
受益証券	口数	10,241	2,283	18,018	1,878
その他	額面金額	—	—	—	—

##### ロ 受入保証金代用有価証券

(単位：千株、百万円、百万口)

有価証券の種類		2022年3月31日現在	2023年3月31日現在
		数量	数量
株券	株数	9,211	7,878
債券	額面金額	—	—
受益証券	口数	361	346
その他	額面金額	—	—

## ハ 管理の状況

管理区分	商品区分	管理場所	管理方法
単純保管	株券	自社金庫	自己分と委託分を区分し個別に判別できるよう保管。
混蔵保管	株券・債券・受益証券	証券保管振替機構 海外保管機関 受託銀行	自己分と顧客分が区分された帳票で管理。 代用有価証券については代用区分された帳票で管理。
振替決済	株券・債券・受益証券	証券保管振替機構	口座管理機関において振替口座簿にて管理。 代用有価証券については代用区分された帳票で管理。

### (2) 金融商品取引法第 43 条の 2 の 2 の規定に基づく区分管理の状況

#### ① 商品顧客区分管理信託の状況

(単位：百万円)

項 目	2022 年 3 月 31 日現在の金額	2023 年 3 月 31 日現在の金額
直近差替計算基準日の顧客分別金必要額	—	0
顧客分別金信託額	1	3
期末日現在の顧客分別金必要額	—	0

#### ② 有価証券等の区分管理の状況

該当事項はございません。

### (3) 金融商品取引法第 43 条の 3 の規定に基づく区分管理の状況

#### ① 法第 43 条の 3 第 1 項の規定に基づく区分管理の状況

(単位：百万円、千株 等)

	管理の方法	2022 年 3 月 31 日現在の金額	2023 年 3 月 31 日現在の金額	内 訳
金銭有価証券等	金銭信託	2,050	1,953	SBI クリアック® 信託
	—	—	—	—
	—	—	—	—
	—	—	—	—

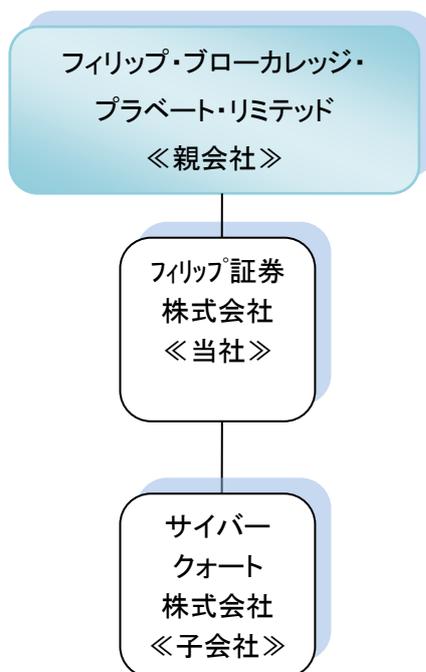
#### ② 法第 43 条の 3 第 2 項の規定に基づく区分管理の状況

該当事項はございません。

## V. 連結子会社等の状況に関する事項

### 1. 当社及びその子会社等の集団の構成

当企業集団は、シンガポールに拠点を置く持株会社、フィリップ・ブローカレッジ・プライベート・リミテッドを親会社として、以下の系統図のとおり構成されております。



### 2. 商号又は名称、本店又は主たる事務所の所在地、資本金の額、事業の内容等

商号又は名称	本店所在地	資本金	事業内容	当社及び子会社等の保有する議決権の数	子会社等の総株主の議決権に占める当該保有する議決権の数の割合
フィリップ・ブローカレッジ・プライベート・リミテッド	250 NorthBridge Road #06-01 RafflesCity Tower Singapore 179101	7,615万SGドル	持株会社	—	—
サイバークォート株式会社	東京都中央区日本橋兜町4-3	500万円	システムに関するソリューション、開発、運用管理、保守等	500口	100%

以上